

ミニディスクロージャー誌 2007

第83期 営業のご報告

平成18年4月1日から平成19年3月31日まで

地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行

皆さまには、平素より筑邦銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび、当行の平成18年度の業績と現況などについてご説明した「ミニディスクロージャー誌2007／第83期営業のご報告」を作成いたしました。本誌を通じて、私どもに対するご理解をより深めていただければ幸いに存じます。

さて、私ども金融機関を取り巻く環境は、各種の制度改正に加え、郵政民営化、広域化を目指す地域金融機関の進出など地域や業態を越えた競争がますます激化しております。

こうした中、当行は、昨年4月にスタートした「中期経営計画2006」のなかで、「地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行」をテーマとして、法令等遵守などの経営管理態勢をさらに強化するとともにお客さま第一主義の原点に立ち返り、金融サービスの充実に努めています。

今年度も昨年の成果を踏まえて、さらにお客さまの満足度が高く、安心・信頼してお取引いただける銀行を目指しておりますので、より一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成19年6月



頭 取 山下 洋

目次

	頁		頁
ごあいさつ	1	地域経済の活性化	13
経営方針	2	社会貢献活動	14
決算の概況	3	商品／サービスのご案内	15
損益、資産・負債		店舗／店舗外キャッシュコーナーのご案内	17
財務のご報告	5	個人情報の保護	19
当行の健全性	7	お客様への大切なお知らせ	20
トピックス	9	役員／株式の状況	21
地域貢献	11	株式のご案内	22

中期経営計画2006

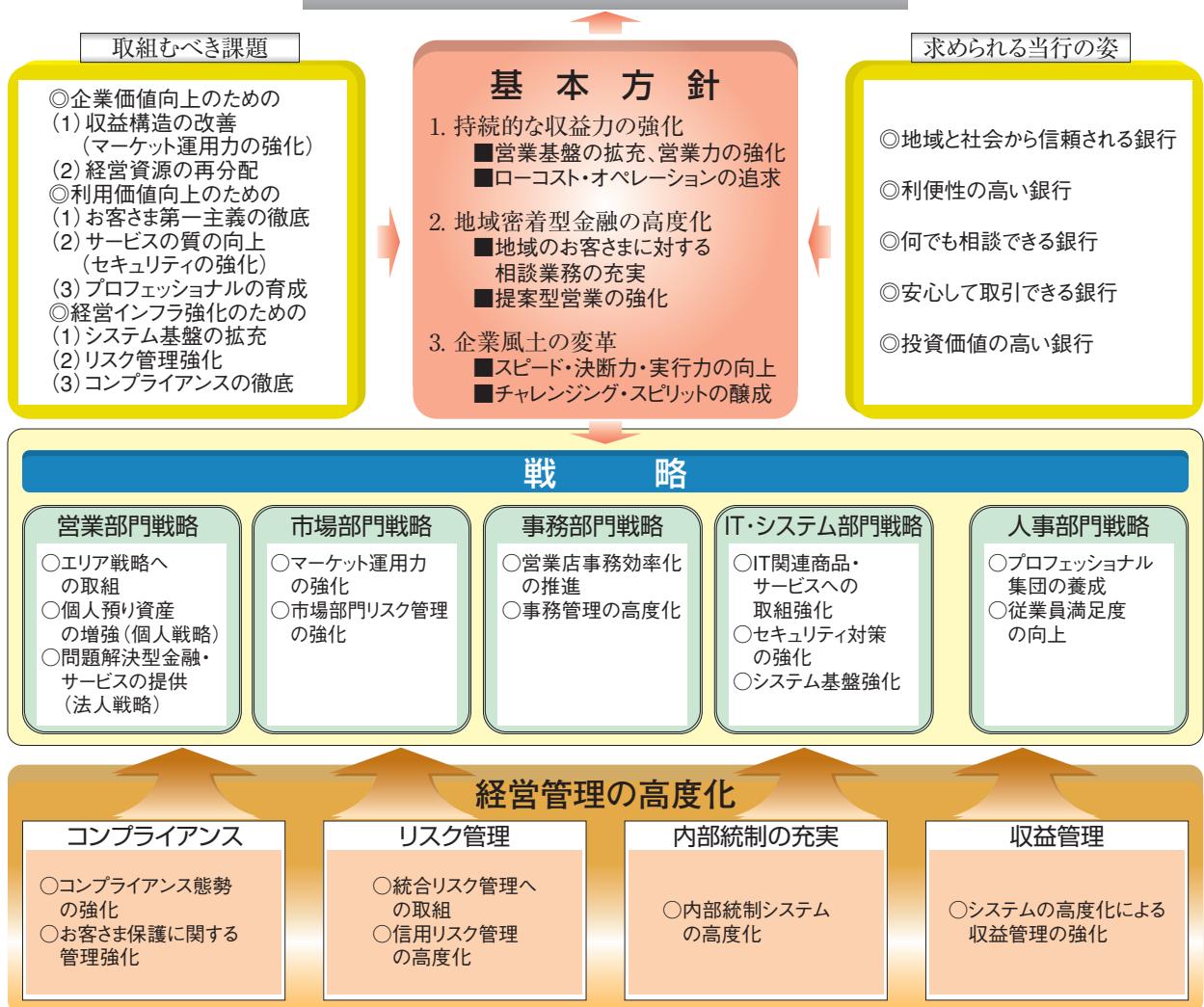
(2006年4月～2009年3月)

当行は、平成18年4月より「中期経営計画2006」を推進しております。

この計画は、「持続的な収益力の強化」、「地域密着型金融の高度化」、「企業風土の変革」を基本方針として、直面する経営課題にスピード感をもって取組み、「地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行」を目指しております。

目指すべき当行の姿

地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行



決算の概況

損益



業務純益

業務純益は、資金運用利回りの上昇による資金利益の増加等により、前期比78百万円増加して33億98百万円となりました。



経常利益

経常利益は、システム投資に伴なうソフトウェア費用の増加等により、前期比72百万円減少して15億51百万円となりました。



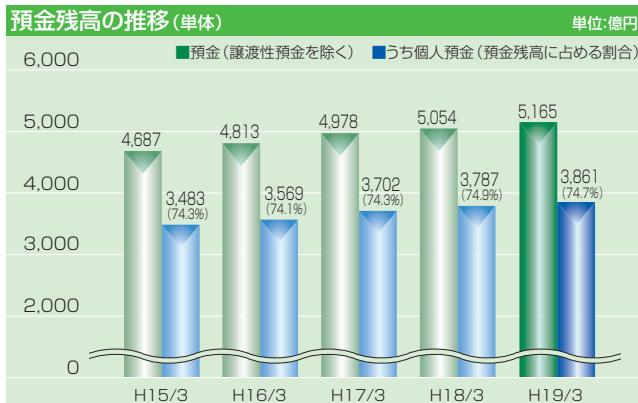
当期純利益

当期純利益は、特別損失の増加により、前期比2億30百万円減少して6億95百万円となりました。

●収益の用語解説

1. 業務純益とは 銀行の利益を見る上で重要な指標で、預金・貸出金等銀行本来の業務から生まれた利益。一般企業の「営業利益」に相当します。
2. 経常利益とは 業務純益に貸出金償却等の臨時損益を加減算したものです。
3. 当期純利益とは 経常利益に特別損益と税金を加減算したもので、銀行が決算期間中に得た最終利益です。

資産・負債



預 金

預金は、個人預金が順調に増加したことなどから、前期末比111億円増加して5,165億円となりました。



貸出金

貸出金は、地元中小企業を中心とした新規取引の拡大や個人のお客さまの住宅ローンをはじめとした資金ニーズにお応えするため積極的な営業活動に努めた結果、前期末比22億円増加して3,975億円となりました。



有価証券

有価証券は、資金調達が好調であったことから国債などの債券を中心に運用残高の増加を図り、前期末比148億円増加して1,256億円となりました。一方、先行き金利が上昇した場合の価格変動リスクを考慮して変動利付債での運用を増加させるなど運用対象の多様化を図っております。

財務のご報告(連結)

第83期末 連結貸借対照表 (単位:百万円)
(平成19年3月31日現在)

科 目	金 額
(資産の部)	
現金預け金	29,598
買入金銭債権	76
商品有価証券	234
有価証券	125,715
貸出金	393,454
外国為替	199
その他資産	5,714
有形固定資産	17,279
無形固定資産	1,598
繰延税金資産	2,900
支払承諾見返	8,888
貸倒引当金	△8,880
投資損失引当金	△4
資産の部合計	576,775
(負債の部)	
預金	515,067
譲渡性預金	3,491
借用金	5,986
その他負債	3,948
退職給付引当金	1,682
役員退職慰労引当金	472
再評価に係る繰延税金負債	1,813
支払承諾	8,888
負債の部合計	541,351
(純資産の部)	
資本金	8,000
資本剰余金	5,759
利益剰余金	13,613
自己株式	△99
株主資本合計	27,272
その他有価証券評価差額金	3,820
土地再評価差額金	2,201
評価・換算差額等合計	6,022
少数株主持分	2,129
純資産の部合計	35,424
負債及び純資産の部合計	576,775

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第83期 連結損益計算書 (単位:百万円)
(平成18年4月1日~平成19年3月31日)

科 目	金 額
経常収益	18,458
資金運用収益	10,691
(うち貸出金利息)	(9,101)
(うち有価証券利息配当金)	(1,512)
役務取引等収益	1,981
その他業務収益	4,823
その他経常収益	962
経常費用	16,996
資金調達費用	592
(うち預金利息)	(480)
役務取引等費用	676
その他業務費用	4,791
営業経費	7,946
その他経常費用	2,988
経常利益	1,462
特別利益	0
特別損失	414
税金等調整前当期純利益	1,048
法人税、住民税及び事業税	1,511
法人税等調整額	△1,102
少数株主損失	52
当期純利益	692

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第83期 連結株主資本等変動計算書 (単位:百万円)

(平成18年4月1日~平成19年3月31日)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計		
前連結会計年度末残高	8,000	5,759	13,232	△97	26,894	4,334	2,201	6,536	2,006	35,437
当連結会計年度変動額										
剰余金の配当			△309		△309					△309
当期純利益			692		692					692
自己株式の取得				△15	△15					△15
自己株式の処分			△1	12	11					11
土地再評価差額金取崩額			0		0					0
株主資本以外の項目の当連結会計年度変動額(純額)						△514	△0	△514	122	△392
当連結会計年度変動額合計			381	△2	378	△514	△0	△514	122	△13
当連結会計年度末残高	8,000	5,759	13,613	△99	27,272	3,820	2,201	6,022	2,129	35,424

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務のご報告(単体)

第83期末 貸借対照表 (単位:百万円)

(平成19年3月31日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	29,523	預金	516,525
買入金銭債権	76	譲渡性預金	3,491
商品有価証券	234	その他負債	2,188
有価証券	125,649	退職給付引当金	1,668
貸出金	397,534	役員退職慰労引当金	457
外国為替	199	再評価に係る繰延税金負債	1,813
その他資産	1,455	支払承諾	8,888
有形固定資産	9,298	負債の部合計	535,034
無形固定資産	754	(純資産の部)	
繰延税金資産	2,527	資本金	8,000
支払承諾見返	8,888	資本剰余金	5,759
貸倒引当金	△8,039	資本準備金	5,759
投資損失引当金	△4	利益剰余金	13,383
		利益準備金	2,724
		その他利益剰余金	10,659
		別途積立金	9,500
		繰越利益剰余金	1,159
		自己株式	△99
		株主資本合計	27,043
		その他有価証券評価差額金	3,819
		土地再評価差額金	2,201
		評価・換算差額等合計	6,021
		純資産の部合計	33,064
資産の部合計	568,098	負債及び純資産の部合計	568,098

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

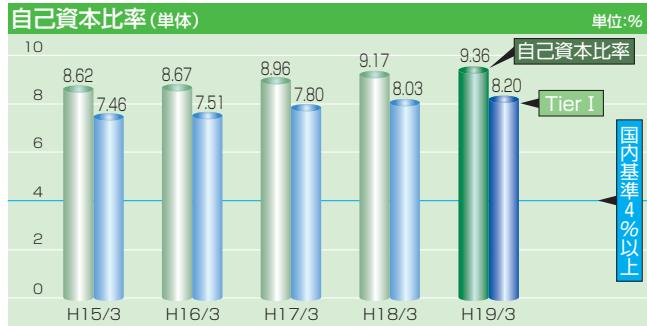
第83期 損益計算書 (単位:百万円)

(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

科 目	金 額
経常収益	13,612
資金運用収益	10,753
(うち貸出金利息)	(9,164)
(うち有価証券利息配当金)	(1,511)
役務取引等収益	1,887
その他業務収益	48
その他経常収益	922
経常費用	12,060
資金調達費用	487
(うち預金利息)	(481)
役務取引等費用	766
その他業務費用	84
営業経費	8,202
その他経常費用	2,519
経常利益	1,551
特別利益	0
特別損失	414
税引前当期純利益	1,138
法人税、住民税及び事業税	1,425
法人税等調整額	△982
当期純利益	695

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

当行の健全性



自己資本比率(国内基準4%以上)

平成19年3月末の自己資本比率は、国内基準を上回る9.36%となり、健全性を見る上で特に重要だと言われているTier I比率（中核的自己資本比率）も8.20%と高い水準にあります。

●自己資本比率の用語解説

1.自己資本比率とは

銀行の貸出等総資産に対する自己資本額の割合です。この比率が高いほど不良債権等に対する備えが充実していることを示すため、銀行の健全性を表す重要指標の一つになっています。なお、当行のように海外に営業拠点を持たない銀行は、国内基準（4%）を維持することが義務づけられています。

2.Tier I比率とは

資本金や利益剰余金などの基本的項目（Tier I）のみから算出される自己資本比率です。

格付け

当行は、格付けについて公正で権威ある日本格付研究所からA-格付を取得しており、安全性について高い評価を受けております。（平成18年12月12日現在）

●格付けの用語解説

格付けとは

一般的に企業が発行する債券や銀行預金の元金・利息支払いの安全度を示す指標で、このランクが上位に位置するほど安全性が高いとされています。
※ AからBまでの格付け記号には同一等級内での相対的位置を示すものとしてプラス（+）もしくはマイナス（-）の符号による区分があり、一般的にB B B（-）以上が「投資適格等級」と言われています。

有価証券(その他有価証券で時価のあるもの)の評価損益(単体) 単位:百万円

平成19年3月31日	評価損益	評価益	評価損
株式	6,859	7,261	401
債券	△524	205	729
外国証券	△527	55	583
その他	600	618	17
合計	6,408	8,141	1,732

有価証券評価損益

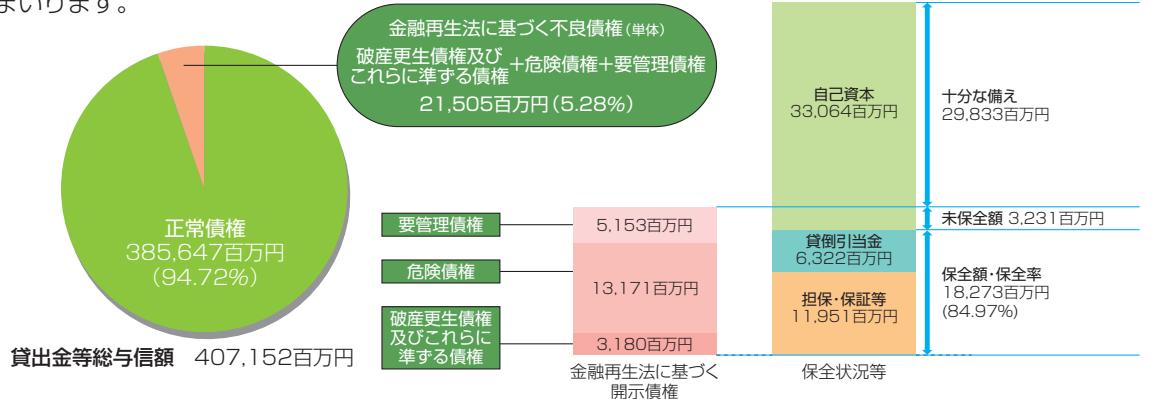
有価証券の評価損益は、前期末比で債券が3億85百万円増加したものの、株式が11億63百万円減少しました。この結果、評価益と評価損を通算した評価益は64億8百万円となりました。

不良債権

金融再生法に基づく貸出金等の総与信額は4,071億52百万円となり、そのうち回収に懸念のない正常債権は3,856億47百万円で94.72%を占めております。

一方、不良債権は215億5百万円（総与信の5.28%）となり、平成18年3月期の223億35百万円（総与信の5.51%）に比べ8億30百万円減少しました。また、この不良債権の84.97%（182億73百万円）は、担保・保証等や引当金で保全されています。残りの32億31百万円につきましては、お取引先の経営状態から直ちに引当を要するものではありませんが、仮に貸倒が発生したとしても、当行の自己資本は330億64百万円あり備えは十分で、当行の財務内容の健全性をご理解いただけるものと存じます。

今後も皆さま方の資金需要にお応えしながらも、審査・信用リスク管理を徹底して、貸出債権等の健全性確保に努めてまいります。



●金融再生法開示債権の保全状況（単体）

単位：百万円

平成19年3月31日	破産更生債権等	危険債権	要管理債権	合計
開示債権額(A)	3,180	13,171	5,153	21,505
担保・保証等による保全額(B)	2,268	7,994	1,688	11,951
対象債権に対する貸倒引当金(C)	911	4,928	482	6,322
保全額(D)=(B)+(C)	3,180	12,922	2,170	18,273
開示額に対する保全率(D/A)	100.00%	98.11%	42.12%	84.97%
担保・保証等による保全がない額(E)=(A)-(B)	911	5,176	3,464	9,553
引当率(C/E)	100.00%	95.19%	13.91%	66.17%

※百万円未満は切り捨てて表示しております。

●不良債権の用語解説

1.破産更生債権及び これらに準ずる債権とは

破産、会社更生、再生手続等の事由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権。

2.危険債権とは

債務者が経営破綻の状況には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受け取りができない可能性の高い債権。

3.要管理債権とは

3ヶ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権。

4.正常債権とは

債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記1から3までに掲げる債権以外のものに区分される債権。

トピックス

久留米広域商談会開催（平成18年7月）

当行、佐賀銀行および十八銀行の三行が共同で平成17年3月に設立した「北部九州ビジネスマッチング協議会」は、久留米市と共同で「久留米広域商談会」を開催しました。

商談会は、地場中小製造業に対する受注機会の拡大や、製造業の企業誘致の促進など地域産業の活性化を図ることを目的として継続して開催しており、今回は、自動車関連企業など発注先企業が32社、受注先企業が111社参加し、数多くの商談が行われました。



久留米広域商談会

三行システム共同化（平成18年8月）

当行、佐賀銀行および十八銀行の三行は、平成17年5月に次期基幹系システムの共同化について基本合意し、日本ユニシス株式会社のオープン系システム「Bank Vision」の採用を内定しておりましたが、平成18年8月に同社の次期基幹系システムを使用した共同アウトソーシングサービスを利用する「最終合意書」を締結いたしました。

今後、三行および同社の協力体制のもと、コスト削減を図るとともに、安全で効率的なシステムの構築および本番移行に向けて各種の準備を行ってまいります。



無料法律相談会

無料法律相談会の開催（平成18年9月）

当行は、地域に密着した金融機関としてのサービスの一環として、無料の「法律相談会」を平成18年9月より毎月開催しています。

相談会開催場所は、本店営業部、吉井支店、日田支店、八女支店、筑後支店の5ヶ店で、本店営業部は毎月開催。吉井支店、日田支店、八女支店、筑後支店については、巡回して4ヶ店のうちいずれか1ヶ店にて毎月開催しております。

ご相談の申込みは最寄の当行本支店で受付いたしております。



当行は、福岡県の「子育て応援の店」に登録しております。

「ちくぎん子育て支援ローン」の取扱開始（平成18年10月）

当行は、小学校入学前のお子さまを養育されている「子育て家庭」（妊娠中の方を含みます。）をサポートするため、「ちくぎん子育て支援ローン」の取扱いを開始いたしました。

このローンは、子育てに関する費用や育児休業中の生活資金をご利用いただけます。

ちくぎん「3大疾病保障特約付住宅ローン」の取扱開始（平成18年11月）

当行は平成18年11月より、「3大疾病保障特約付住宅ローン」の取扱いを開始いたしました。この住宅ローンは、これまでの団体信用生命保険による死亡・高度障害保障に加え、「ガン」、「急性心筋梗塞」および「脳卒中」に罹患した場合にも診断給付金でローンが全額返済される住宅ローンです。

第2回PFI事業セミナー開催について（平成18年11月）

PFI事業への理解と同事業の国内での動向の説明を目的として、当行大ホールで第2回PFI事業セミナーを開催いたしました。地元地公体・地元企業・金融機関等より多数の参加がありました。



第2回PFI事業セミナー



「ちくぎんバイオベンチャー研究開発大賞」の表彰

「ちくぎんバイオベンチャー研究開発大賞」の創設（平成19年1月）

当行は、福岡県と久留米市が連携して久留米リサーチパークを拠点に、「福岡バイオバレー」プロジェクトを推進していることから、バイオベンチャー企業の育成を支援するために「ちくぎんバイオベンチャー研究開発大賞」を創設しました。第1回の研究開発大賞は地場のバイオベンチャー企業2社を表彰しました。今後も地場産業の育成、地域経済の活性化に貢献してまいります。

事業継続ファンドへの出資（平成19年6月）

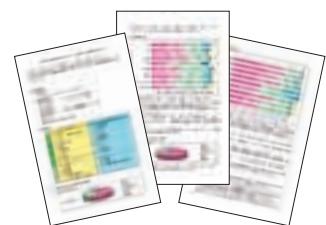
当行は、(株)ドーガン・インベストメンツ（本社：福岡市）が運営する「九州事業継続ブリッジ投資事業有限責任組合」（九州ブリッジファンド）へ出資いたしました。

当ファンドは優れた技術やノウハウを持ちながら後継者不在等により、新たな事業展開が困難になっている中小企業の事業継続を支援し、九州経済を活性化させることを主な目的とするファンドです。

「お客さま満足度アンケート調査」の結果公表（平成19年6月）

当行は、お客さまに、より満足していただけるよう昨年に引き続き「お客さま満足度アンケート調査」を実施いたしました。お客さまの貴重なご意見を今後の事業運営の参考とさせていただき、順次改善努力してまいります。なお、調査結果および改善項目については、当行ホームページに掲載しています。

当行ホームページ (<http://www.chikugin.co.jp/>)

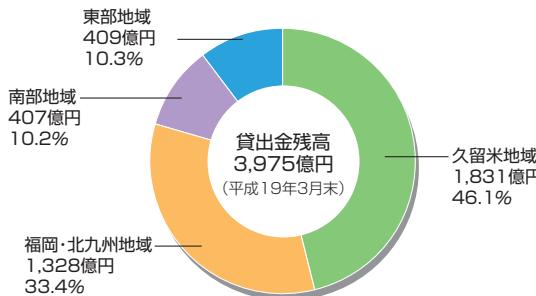


お客さま満足度アンケート

地域貢献

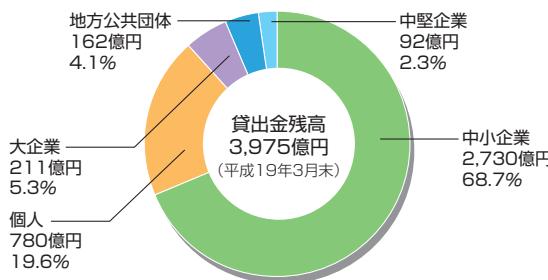
融資の状況

地域別貸出金残高、構成比率

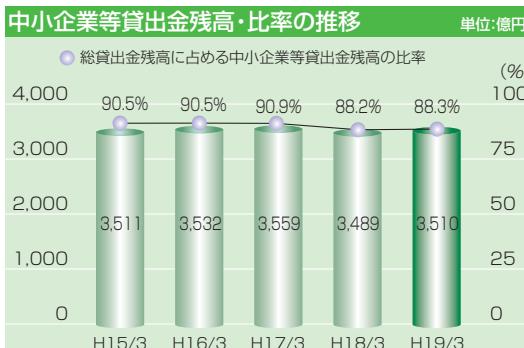


当行が地域のお客さまからお預かりした大切な預金は、そのほとんどを地域の企業や個人の方々への貸出に向けており、「地域の資金は地域のために」という当行創立の趣旨を堅持し、地域金融機関の使命を果たしております。

中小企業等貸出金残高、構成比率



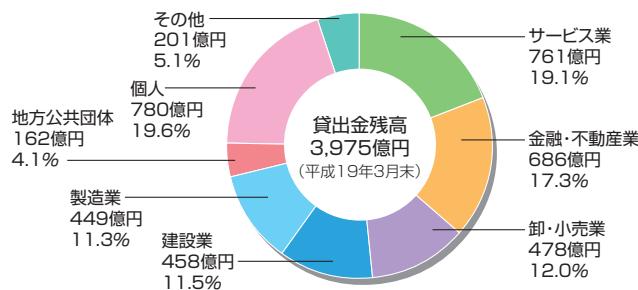
当行は創業時より地域の中小企業や個人の方を中心とした貸出を行っており、今後もこの方針を変更することなく、お客様のニーズを的確につかみ、必要とされる資金・金融サービス・各種金融情報をタイミング一に提供してまいります。



中小企業等貸出金残高、比率の推移

中小企業および個人の方々に対する貸出金の残高は、前年比21億円増加し、3,510億円となりました。総貸出金残高に占める中小企業等貸出金残高の割合は、88.3%（中小企業68.7%、個人19.6%）と高い割合を維持しています。

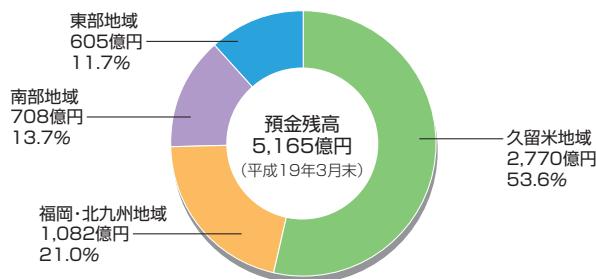
業種別貸出金残高、構成比率



当行は、リスク管理の面等から地方公共団体や個人以外では一定の業種に偏ることなく各業種に概ね均等に貸出を行っております。

預金・預り資産の状況

地域別預金残高、構成比率



当行は、地域に根差した金融機関として、創立以来地域の皆さまからのご信頼をいただき、預金は個人預金を中心に順調に推移しております。今後もお客様のニーズにあった魅力ある金融商品の提供に努めてまいります。

個人預り資産残高の推移



個人預り資産残高

当行は、お客様の多様化する資金運用ニーズにお応えする投資信託や国債等を取扱っております。低金利状況が長期化する中で資産運用が多様化していることにより、個人預り資産は投資信託を中心に前期末比64億24百万円増加し、359億11百万円となりました。

※個人預り資産＝投資信託、個人年金保険、外貨預金、公共債の合計

地域経済の活性化

企業育成ならびに経営サポートの状況

地域経済の活性化・地域の発展のために、企業への円滑な資金供給やお取引先企業のさまざまなニーズに幅広くお応えする取組みを実施しております。

1. 創業・新事業支援への取組み

当行は、日本政策投資銀行、商工中金、中小企業金融公庫と業務協力協定を締結するなど、積極的にベンチャー企業育成活動に取り組んでおりますが、本年1月に、地元のバイオベンチャー企業の育成を支援するために、「ちくぎんバイオベンチャー研究開発大賞」を創設し、バイオベンチャー企業2社を表彰いたしました。(P10参照)

また、久留米市の「新規開業資金審査会」のメンバーとして10回の審議に参加し、15社、55百万円の事業資金融資を実行いたしました。



「ちくぎんバイオベンチャー研究開発大賞」表彰式

2. 経営相談・支援機能の強化

①コンサルティング機能の強化

金融機関では、全国初となった(社)中小企業診断協会福岡県支部との業務提携により、中小企業診断士と連携して地域企業の経営改善および企業再生支援を推進しております。

特に、毎月開催している無料の経営相談会は、ご好評をいただいております。

②事業継続ファンドへの出資

優れた技術やノウハウをもちながら、後継者不在等により、新たな事業展開が困難になっている地場企業の事業継続を支援するため、(株)ドーガン・インベストメンツが運営する「九州事業継続ブリッジ投資事業有限責任組合」(九州ブリッジファンド)へ出資いたしました。(P10参照)

③ビジネスマッチング情報提供機能の強化

平成18年7月には久留米市との共催により、地場最大規模の「久留米広域商談会」を開催しました。自動車業界を中心に発注先企業32社、受注先企業111社と多数の企業のご参加をいただき、多くの商談が行われました。(P9参照)



久留米広域商談会

3. 担保・保証に過度に依存しない融資の推進等

担保・保証に過度に依存しない融資商品として、CRD(中小企業信用リスクデータベース)を利用した福岡県等との提携商品「元気フクオカ資金」、保証会社各社・各地商工会議所との提携商品「ちくぎんビジネスローン」および「ちくぎんサポートローン」、当行独自商品「ちくぎんクイックローン」等を積極的に推進し、平成18年度中に1,033件、9,416百万円の融資を実行しました。引き続き、担保・保証に過度に依存しない融資の推進や、事業価値に着目した新しい融資手法の開発等、地域のお取引先企業の資金調達手段の多様化に取り組んでまいります。

社会貢献活動

地域への各種支援活動の状況

当行は、銀行業務を通じた地域経済への貢献のほか、地域社会の一員としてさまざまな社会貢献活動を積極的に展開しております。

環境保全・美化活動

①全行員一斉「地域貢献清掃活動」の実施

当行の創立50周年を機に、平成14年10月より、当行の基本理念である「地域社会へのご奉仕」の実践として、全行員による店舗周辺の道路や公園などのボランティア清掃活動を毎月行っております。



地域貢献清掃活動

②地域の美化運動への積極参加

地域環境の美化のために、「都心部道路美化キャンペーン」、「筑後川河川敷美化ノーポイ運動」などの地域の美化運動に積極的に参加し、地域と一体となった活動を続けております。



③古紙リサイクル活動の推進

平成16年3月に久留米市の古紙リサイクル奨励制度に登録し、ゴミ減量の一環として古紙のリサイクルを推進しております。



第15回ちくぎん杯少年サッカー大会

「小さな親切運動」の推進

昭和58年7月、「くるめ『小さな親切』運動の会」発足と同時に役職員が会員となり、今日まで「小さな親切」の実践に取り組んでまいりました。

また、平成5年4月から当行本店内に同会の事務局を設置し、環境保全・美化活動など、豊かな地域づくりに向けたさまざまな活動に取り組んでおります。



くるめ水の祭典

青少年スポーツ活動の支援

平成5年より、青少年の健全な育成を願って「ちくぎん杯少年サッカー大会」を毎年開催しております。この大会には、筑後地区を中心に福岡県内および近県から32チーム（小学生約600名）が出場し、2日間にわたる熱戦を繰り広げています。



福岡政行先生チャリティー講演会

地域行事への積極参加

当行は、地域社会の一員として地域の皆さまとのふれあいを大切にし、毎年「くるめ水の祭典」などのさまざまな地域イベントに積極的に参加しております。

各種講演会の開催

地域の皆さまへの情報サービスの一環として「福岡政行先生チャリティー講演会」・「経済財政白書講演会」・「九州経済白書説明会」等を毎年開催し、ご好評をいたたいております。

地域の講演会への講師の派遣

地域の学校やロータリークラブ、講演会・会議などへ役職員を講師として派遣し、銀行業務や金融の仕組みについての講義を行い、地域の皆さまへの金融経済に関する情報提供に努めております。

商品／サービスのご案内

個人の皆さま向けローン商品

個人のお客さまの、より豊かで充実した明日のために、ライフステージに合わせた各種ローンを取りそろえております。

(平成19年3月末日現在)

種類		ご融資金額	ご返済期間	特色
カードローン	エースカードローン	300万円以内	1年(自動更新)	極度額の範囲内で自由にお借入れができます。
	ミニカードローン	50万円以内	3年(自動更新)	極度額の範囲内で自由にお借入れ、ご返済ができます。
	M y ポケット	90万円以内	1年(自動更新)	極度額の範囲内で自由にお借入れができます。
目的型ローン	マイカーローン	500万円以内	8年以内	車の購入や車検費用等のローンです。
	教育ローン	500万円以内	10年 6か月以内	在学期間中は返済を据置できます。
	子育て支援ローン	50万円以内	5年以内	子育てに関する費用や育児休業中の生活資金にご利用いただけます。
住宅ローン	住まいの住宅ローン	6,000万円以内	35年以内	変動金利型、固定金利選択型をお選びいただけます。 ※3大疾病保障特約付住宅ローンも取扱いいたします。



事業者の皆さま向け融資商品

地元企業や個人事業主の皆さまの資金ニーズに積極的にお応えするため、さまざまな商品を取りそろえております。

(平成19年3月末日現在)

種類		ご融資金額	ご返済期間	特色	担保等
事業者用ローン	事業者カードローン	有担保は、1,000万円以内 無担保は、500万円以内	2年(自動更新)	限度内で繰り返し利用できます。	保証協会
	タイムリーローン	1億2千万円以内	2年(自動更新)	同上	同上
	ビジネスローン	5,000万円以内	3年以内	法人または個人事業主の方が対象となります。	不要
	サポートローン	1,000万円以内	5年以内	スピード審査でスピード回答、無担保・第三者保証人不要で事業性資金をご融資いたします。	オリックス(株)
	クイックローン	5,000万円以内	1年以内	スピード回答、無担保でご融資、事業性資金をご利用いただけます。	不要



インターネットサービス

いつでもラクラク、簡単アクセス！

【個人のお客さま】

インターネット・モバイルバンキング（ちくぎんCnet）
パソコンまたは携帯電話から残高照会や振込がご利用いただけます。



会社のパソコンが筑邦銀行の窓口に！

【法人・個人事業主のお客さま】

インターネットバンキング（ちくぎんビジネスWeb）
オフィスにいながら、残高照会や振込がご利用いただけます。



※ご利用にはインターネットへの接続とご契約が必要です。

ご相談サービス

「金融のホームドクター」を目指している当行は、各種相談会の開催、相談コーナー等の充実に努めております。

(平成19年3月末日現在)

種類	内容
年金相談会	平日にじっくりご相談を承れるように毎月第3水曜日に本店営業部で「年金相談会」を開催いたしております。年金に関するさまざまなお問い合わせを専門の相談員がわかりやすくご説明いたします。
経営相談会	経営改善、経営革新などに前向きに取り組んでおられる経営者の方々の事業の順調な発展、成長を支援するため中小企業診断士が経営の診断助言を行います。
法律相談会	地域に密着した金融機関としてのサービスの一環として、無料の「法律相談会」を開催いたしております。専門の弁護士がわかりやすくていねいにお答えします。
テレホンセンター	フリーダイヤルによるローンの仮申込、ご相談を受付けております。また、定期預金の満期のご案内も行っております。受付時間は午前9時～午後8時迄です。（土・日・祝日は除きます。）☎ 0120-86-7980
ご相談コーナー	本店営業部で、夜8時までご融資（住宅ローン、事業資金等）や資産運用（預金、投資信託、保険等）などのご相談を承っております。TEL 0942-32-5600



ご来店はゆっくり、ご相談はじっくりどうぞ。

ちくぎんご相談コーナー

よる8時まで 本店営業部 平日時間延長

店舗／店舗外キャッシュコーナーのご案内

当行は、福岡県内（主として久留米地域、東部地域、南部地域、福岡・北九州地域）のほか、鳥栖市（佐賀県）及び日田市（大分県）とその近隣地域を営業基盤としています。

店舗

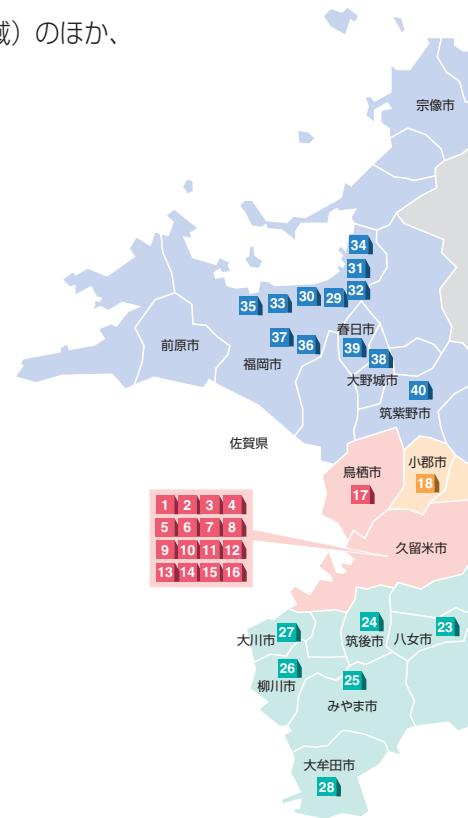
番号	店　名	電話番号	番号	店　名	電話番号
1	本店 営業部	0942-32-5331	23	八女支店	0943-23-3141
2	中央町支店	0942-33-9116	24	筑後支店	0942-53-2188
3	国道通支店	0942-33-8471	25	瀬高支店	0944-62-2143
4	日吉町支店	0942-32-5261	26	柳川支店	0944-72-2131
5	くしはら支店	0942-39-3691	27	大川支店	0944-87-2134
6	荒木支店	0942-26-3161	28	大牟田支店	0944-52-5271
7	国分支店	0942-21-7131	29	福岡支店	092-521-1451
8	高良内支店	0942-43-2333	30	赤坂門支店	092-761-6404
9	長門石支店	0942-38-5731	31	博多支店	092-411-7231
10	津福支店	0942-34-6511	32	雑餉隈支店	092-581-2831
11	上津支店	0942-21-4681	33	西新町支店	092-821-3331
12	南町支店	0942-21-4311	34	名島支店	092-661-2811
13	十三部支店	0942-43-3911	35	姪浜支店	092-891-7561
14	東合川支店	0942-44-5500	36	警弥郷支店	092-572-3911
15	大善寺支店	0942-26-8971	37	中尾支店	092-561-2231
16	田主丸支店	0943-72-2171	38	大野支店	092-591-3111
17	鳥栖支店（佐賀県）	0942-83-2801	39	春日支店	092-501-1531
18	小郡支店	0942-73-3211	40	二日市支店	092-922-6661
19	甘木支店	0946-22-3920	41	北九州支店	093-531-3631
20	吉井支店	0943-75-2101	42	黒崎支店	093-621-0631
21	杷木支店	0946-62-1125			
22	日田支店（大分県）	0973-24-3171			

■ 久留米地域

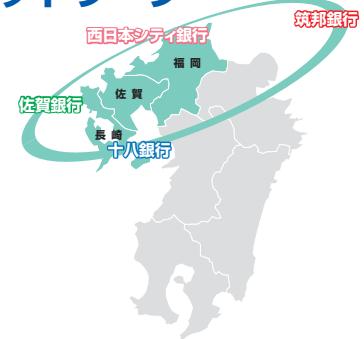
■ 南部地域

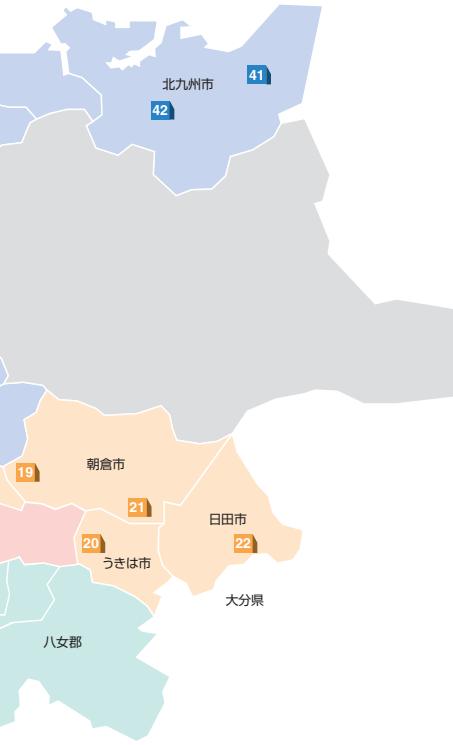
■ 東部地域

■ 福岡・北九州地域



ATMネットワーク





提携金融機関4行のATM・CD 1,281か所 2,623台
 (平成19年3月31日現在)

筑邦銀行、佐賀銀行、十八銀行、西日本シティ銀行のキャッシュカードをご利用のお客さまは、4行のATM・CDからのお引き出しが手数料無料でご利用いただけます。

無料でご利用いただける時間 平日8：45～18：00

※上記時間以外のご利用には、別途時間外手数料が必要となります。

※佐賀銀行、十八銀行、西日本シティ銀行のカードによる「お引き出し」は、当行カードによる「お引き出し」と同様の手数料となります。

※ご利用時間及びサービス内容は設置場所によって異なります。

店舗外現金自動設備

- 【】 西鉄久留米駅出張所
- 【】 西鉄久留米駅前出張所
- 【】 一番街出張所
- 【】 久留米六角堂広場出張所
- 【】 久留米大学病院1階出張所
- 久留米大学医療センター出張所
- 久留米大学商学部出張所
- 【】 ハンドマーク上津店出張所
- 【】 スーパー大栄上津店出張所
- 【】 西鉄花畠駅出張所
- 【】 聖マリア病院出張所
- 【】 タイホー西町店出張所
- 【】 タイホー津福店出張所
- 【】 タイホー櫛原店出張所
- 【】 タイホー十三部店出張所
- 【】 タイホー国分店出張所
- 【】 ゆめタウン久留米出張所
- 【】 タイホー山川店出張所
- 【】 西鉄ストア宮ノ陣店出張所
- 【】 JR久留米駅出張所

- 【】 タイホー大石町店出張所
- 【】 久留米駐屯地出張所
- 【】 久留米市役所出張所
- 【】 サザンモール出張所
- 【】 タイホー北野店出張所
- 【】 ミスター・マックス北茂安店出張所

- 小都市役所出張所
- 【】 D&D大刀洗店出張所
- 【】 タイホー甘木店出張所
- 朝倉市役所出張所
- 【】 ジャスコ甘木店出張所

- 【】 ゆめタウン八女出張所
- 柳川市役所出張所

- ソラリアプラザB1出張所
- 【】 明治屋太宰府店出張所
- 筑紫野市役所出張所
- 【】 ゆめタウン筑紫野出張所

入金できる設備

当行は、以下のとおり「個人情報保護宣言」を定め、行内態勢を整備し、お客さまからお預かりする個人情報の保護に努めております。

1.個人情報保護への取組み

管理責任態勢を明確にし、組織的に継続的な改善に努めております。

また、全役職員に対し、個人情報保護の重要性について教育を実施し、日常業務における適正な取扱いを徹底しております。

2.個人情報の取扱い

「個人情報保護法」及びその関連法令等を遵守し、業務上必要な範囲内で適正な手段により取得・利用しており、目的外の利用はいたしておりません。

また、保有する個人情報に関する開示・訂正・利用停止等の請求ならびに利用目的に関する通知等の請求に対応いたしております。

3.個人情報の安全管理

個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏えい等を防止するため、万全な組織的セキュリティ対策及び技術的なセキュリティ対策を行っております。

4.個人情報の取扱いに関するお問い合わせ・苦情等のお申し出先

個人情報の取扱いに関するお問い合わせ・苦情等のお申し出については、営業店ならびに以下の窓口にて対応いたしております。

開示等の手続は、窓口のパンフレットまたは当行ホームページをご確認ください。

【ご質問・苦情等のお申し出先】

株式会社 筑邦銀行 本店 お客さまサービス室

久留米市諏訪野町2456番地の1

電話：0942-32-5343（直通） E-mail : ckh-service@chikugin.jp

（月曜日から金曜日 9:00～17:00 ただし、土・日・祝祭日等銀行休業日を除きます。）

お客さまへの大切なお知らせ

キャッシュカード犯罪被害にあわないために

キャッシュカードの 暗証番号は大丈夫ですか？

- 暗証番号を「生年月日」、「電話番号」、「住所の番地」や「自動車のナンバー」など他人に類推されやすい番号になると大変危険です。もし、このような番号をご使用になっていて被害にあわれた場合、補償が減額されることがありますので、至急変更されるようお願いします。
- 暗証番号をカードに書き込んだり、メモと一緒に保管していたりすると、被害にあわれた場合に補償を受けられませんのでご注意ください。
- 暗証番号の変更はお取引店の窓口またはATMでお取扱いできます。
- 銀行員を装って電話をかけ、「暗証番号を変更する」などといって、暗証番号を聞きだそうとする犯罪がおきています。当行行員がお客さまに暗証番号をお聞きすることはできません。また、キャッシュカードはどんなに短時間であっても他人に預けたりするのは大変危険ですのでご注意ください。

通帳・印鑑・キャッシュカードの 保管にご注意ください！

- 通帳・印鑑・キャッシュカードは別々に、厳重に保管されるようお願いします。また、運転免許証や保険証などご本人であることを示す公的書類も通帳などとは別に保管されることをお勧めします。
- 万一、通帳・印鑑・キャッシュカードのいずれか一つでも紛失された場合は、すぐにお取引店へご連絡ください。早朝・夜間及び休日についてはATMサービスセンターにご連絡ください。

	受付時間帯	連絡先	連絡先電話番号
平 日	8:45～18:00	お取引店または お近くの筑邦銀行	「店舗のご案内」(P17) を ご覧ください。
	18:00～翌日8:45	ATMサービス センター	0942-35-0037
土・日・祝	24時間受付		

- 通帳の記帳はできるだけ頻繁に行い、不審な取引がないかを確認してください。

偽造・盗難キャッシュカード対策への取組み

当行は偽造・盗難キャッシュカード等によるお客さまのご預金の不正引出を防止するため、さまざまな対策を講じています。

対策項目	内容
のぞき見防止フィルム	ATM機の操作画面にのぞき見防止フィルムを貼り、お客さまの後方や横から暗証番号等をのぞき込まれないように安全性を高めています。
後方チェックミラー	ATM機の操作中にお客さまの後方がチェックできるようにミラーを取り付けております。
「ご利用明細票」の発行要否選択	キャッシュカードでのお引出しの際、お客さまの口座番号等のカード情報が第三者に漏れるのを防ぐ目的で「ご利用明細票」発行の要否をお選びいただけるようにしています。
ATMでの「暗証番号の変更」・「利用限度額引下げ」機能	ATMでの一日あたりのご利用限度額※を200万円に引き下げていますが、不正引出被害の全国的な増加を受け、お客さまのご預金保護のため、「暗証番号の変更」・「利用限度額引下げ」を、窓口でのお取扱いに加えて、お客さまが直接ATM機で行うことができるようになっています。
盗難・偽造等の24時間受付	カード等の盗難・偽造等の被害の未然防止や拡大防止をはかるために、お客さまからの緊急連絡を、24時間受付いたしております。

※ご利用限度額について

ご利用限度額には当行のATMでのお引出し、お振込（振込資金の引落し）のほか、提携金融機関でのお引出し、デビットカードのご利用金額を含みます。

役員／株式の状況

役員氏名 (平成19年6月28日現在)

取締役会長(代表取締役)	井 手 和 英
取締役頭取(代表取締役)	山 下 洋
取 締 役 副 頭 取	佐 藤 清一郎
常 務 取 締 役	空 閑 重 信
常 務 取 締 役	日 隈 篤 裕
取 締 役	田 中 靖 正
取 締 役	龍 憲 一
取 締 役	青 木 正 明
常 勤 監 査 役	吉 田 茂
監 査 役	豊 島 安 治
監 査 役	上 野 寛
監 査 役	薬 師 寺 道 明

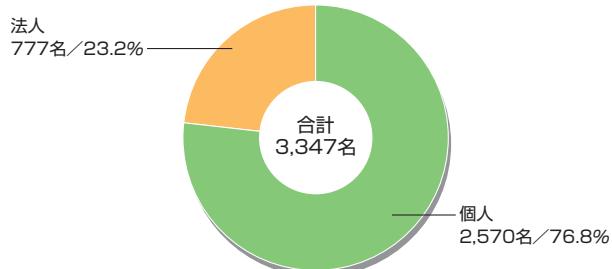
(注) 監査役上野寛、薬師寺道明の両名は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株式の状況 (平成19年3月31日現在)

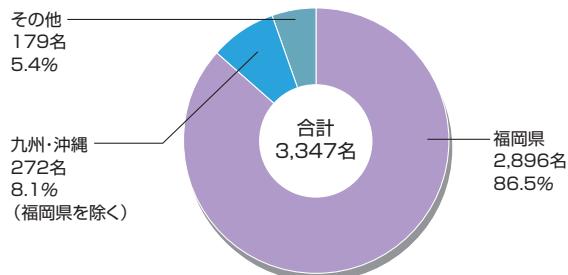
●株式の所有数別分布表

区分	株主数(名)	株主数 比率(%)	株数(株)	株数 比率(%)
1,000,000株以上	10	0.30	16,246,009	26.00
500,000株以上	8	0.24	5,450,331	8.72
100,000株以上	70	2.09	16,094,885	25.75
50,000株以上	75	2.24	4,899,227	7.84
10,000株以上	751	22.44	13,754,213	22.01
5,000株以上	506	15.12	3,185,858	5.10
1,000株以上	1,186	35.43	2,561,606	4.10
1,000株未満	741	22.14	298,071	0.48
合 計	3,347	100.00	62,490,200	100.00

●株式の所有者別分布状況



●株主の地域別分布状況



株式のご案内

1.事 業 年 度	毎年4月1日から翌年の3月31日まで
2.期末配当金の確定日	毎年3月31日
3.中間配当金の確定日	毎年9月30日
4.定 時 株 主 総 会	毎決算日後3か月以内に開催
5.株 主 名 簿 管 理 人	三菱UFJ信託銀行株式会社
6.同 事 務 取 扱 場 所	〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
7.連 絡 先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ・各種お問い合わせ 0120-232-711 (通話料無料) ・各種手続用紙のご請求 0120-244-479 (通話料無料) ・ホームページアドレス http://www.tr.mufg.jp/
8.同 取 次 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
9.上 場 証 券 取 引 所	証券会員制法人 福岡証券取引所
10.公 告 掲 載 紙	福岡市において発行する西日本新聞に掲載 決算公告につきましては、下記のホームページに掲載しております。 ・ホームページアドレス http://www.chikugin.co.jp/

●筑邦銀行の概要



設立	昭和27年12月23日
総資産	5,680億円
預金・譲渡性預金	5,200億円
貸出金	3,975億円
資本金	80億円
株主数	3,347名
従業員数	574名
店舗数	42か店

(平成19年3月31日現在)



あなたのまちの
筑邦銀行
筑邦銀行総合企画部広報室
〒830-0037 久留米市諏訪野町2456-1
TEL (0942) 32-5331 (代)

<http://www.chikugin.co.jp/>